

少子高齢化の対策について

町長 町民総出で少子高齢社会に明るく暮らせるまちづくり



古谷 眞司 議員

古谷

高齢者の独り
住い、また高
齢者夫婦の住まいが増え
ている。地域会館等のバ
リアフリー化がおくれて
いる。家族世帯が住める
アパートが少なく、非常
に高値になっている。こ
れらの生活環境の対策に
ついて伺う。

援や町営住宅の環境整備、
高齢者・障害者等が利便
性の高い「まちなか居住」
を進めていく。

次に、地域会館の改修
等は、各町内会要望で優
先順位をつけて行っている。
今後も各町内会等の
懇談や要望等を通じて応
えていく。

安心して子どもを育て
られる住宅の提供、居住
環境づくりが必要である。
一昨年から住みかえ支援
制度を開始させた。この
制度は少子高齢化社会に
おける住生活環境を整え
るための対策の一つと位
置づけている。

古谷

俱知安高校、
俱知安農高が
ある。両校とも定員が割
れている。町内の両校へ
の進学率は6割から7割
程である。

現在、町内外から両校
へ通学する生徒への支援
はあるか。また、両校へ
の進学率を上げるための
対策があるか。そして、
町外からの生徒を呼び込
めることは考えられるか
伺う。

町長

町内の高校へ
の進学率は、
平成26年度から平成30年
度の5年間の平均で62・
6%。現在、町内外から
両校へ通学する生徒の支
援は町として直接生徒保
護者への支援助成は行
っていないが、俱知安農
業高校教育振興会へ補助
金を交付している。

町外また町内での郊外
からの通学については、
交通費の格差もある。全
体的な枠組みも含めてあ
るべきかについても内部
で検討していく。

地元高校の魅力等を行
政も一緒に関わって伝え
ていく。

また町が下宿等の環境
整備を行うことや支援す
ることは考えていないが、
その時々状況において
検討すべきものは検討し
なければならぬと考
える。

町長

高齢者社会に
対応した住宅
地づくりとして、高齢者
や障害者等がいつまでも
俱知安で自立的に暮らせ
る環境づくりが必要であ
る。特に支援が必要と考
えられる単身高齢者への
民間賃貸住宅への入居支



北地域会館



俱知安高校



俱知安農業高校

一般質問 古谷眞司